

会議録

名称	第6回 子ども・子育て会議
開催日時	令和7年2月18日（火） 10:00～11:30
開催場所	各務原市役所本庁舎4階 4-1・4-2会議室
出席者	杉山章副会長、松原里佳委員、中山絵里子委員、江口佑美委員、座間美奈子委員、本多雅人委員、水野香織委員、竹内育美委員、近藤亜矢子委員、白木京子委員、杉山一夫委員、渡辺千尋委員、小川伸委員、横山実希委員、別宮理恵委員、山田正継委員、事務局：子育て応援課、子ども家庭支援課、健康管理課、教育委員会事務局総務課、学校教育課
議題及び 審議結果等 の概要	<p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 健康福祉部参与挨拶 3 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) パブリックコメント結果報告と計画案修正について 4 その他 5 閉会
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・各務原市附属機関設置条例により、過半数の委員の出席があることから、本会議が有効に成立していることを報告。 2 健康福祉部参与挨拶 <p>大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。本日最後の会議となりますので、色々意見をいただきたいと思います。先日各務原市の予算について発表させていただきましたが、重点目標の1番目に子育て政策を置いておりますので、今後この計画に基づいて細かい事業を実施してまいります。皆様のお力をお借りしないといけないこともありますので、ぜひ色々意見をいただき良い計画にしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。</p> 3 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) パブリックコメント結果報告と計画案修正について <ul style="list-style-type: none"> 《事務局より説明》 (資料①) 《質疑意見》 <p>【副会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題1について質問がある方お願いします。

【委員】

- ・ご意見 8、10 について子どもの行ける範囲が限られるため、子どもが自分で行けるところを今後考えていって欲しい。

【委員】

- ・ご意見 1 について修正後も減少しているという表現になっているが、減少にこだわる理由はあるのか。

【事務局】

- ・純粹にアンケートから読み取れることを記載した。ご意見では負担については聞いていないとの指摘だったため、その部分について修正した。

【委員】

- ・ひとりが子育てに関わる世帯の減少について本当にそうなのかと疑問に思った。子どもと接する機会が両親とも増えているという好転的な意見でも良いと思った。

【事務局】

- ・本編の 10 ページにアンケート結果を掲載しており、前回の調査から大きく変わった部分について言及している。

【委員】

- ・パブリックコメントについて 15 名しかいないのは悲しい。市民をもっと巻き込んだやり方はなかったのか。

【事務局】

- ・広報紙で募集させていただいたほか、小中学校にはスマート連絡帳を通して子どもと保護者に周知した。市の全体からすると 15 名は少ないが、他の計画と比較すると多い。できる限りのことをやってはいるが今後考えていきたい。

【委員】

- ・ご意見 12 でこどもの居場所についての意見が集約されているが、ご意見のとおりだと思う。「ふらっとみなみ」のようにとあるが小牧でもあちこちにあるわけではない。子どもが歩いて行けるところで、無料かつ大人がいる場所となると予算も人手も限られているため、何ができるか考えなければならない。ボランティアが必要となるがどのように募集し、育てていくのか知恵を絞っていって欲しい。

【副会長】

- ・次の計画に向けて検討していく必要があると思う。

【委員】

- ・ご意見 12 について賛同。社会教育の部分でも共有していって欲しい。

い。どこの家庭からも行きやすいところを検討していかなければならない課題だと思うので、共有して行って欲しい。

【委員】

- ・子どもが本当にご意見 12 のような場所を望んでいるのか。アンケートでは7割が自分の家がほっとできる場所と回答している。

【委員】

- ・補導委員をしているが、自宅に居場所がある子は良いが、7割以外の子の中には、家にいられない子もいる。大多数の子は自宅が居場所になっているがそうではない子もいるという現状がある。そういう子が安心できる居場所があればいいと思っている。

【委員】

- ・今居場所のない子達がどのように過ごしているか把握し、学校にいたのであれば、学校に居場所を作ってみるのはどうか。

【委員】

- ・場所は学校で、先生が見るのではなくボランティアの人が見るなど活用できるといいかもしれない。

【委員】

- ・学校に拒否反応を示している子もいると思うので、学校に居場所を作っても一歩踏み出すことができない。市も色々な施策をしており、子ども食堂はイベントとかもやっており、成長していくことができる場だと思うが、それを認知させる手段も必要だと思う。

発達障害のある子に対して先生が不適切な対応をしていたという話を聞き、計画を実践していくことが難しいと感じた。研修もしていると思うが、本当に実践できているか評価していくことが大事だと思う。

【副会長】

- ・色々な部署で行われていくことなので、次のプランまでには形になってくると思う。

【委員】

- ・居場所のない子はいるため、本来は家庭が担っていた子ども居場所を社会が担っていく必要が出てきた。保護者が忙しいため、社会で子どもたちをみていくための施策を考えて知恵を絞っていかなければならない。発達障害のある子のいじめは、なかなか直らない。本人の特性のため、注意しても直らず、時間をかけていく必要がある。先生も手間がかかり、限られた人員でどうするか考えなければならない。

	<p>【副会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか難しい問題だと思う。祖父母も働いており手伝ってもらうこともできないため、社会が居場所作りを担っていかなければならない。市として施策もあるが、市民としてのマインドも何か示せるといいかもしれない。 <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅で仕事をしている家は、5時まで家に入れない子もいる。そういった子が居場所がないと感じているのではないか。児童発達の支援施設では、愛情を求めて落ち着かない子もいるため、地域で育てていくことが大切だと思った。保育士として働いていたころ、発達障害がある子でも通常学級で育て欲しいという思いで、園には隠して入園した子のクラスに携わっていた。新人の先生をサポートする体制も必要だと思った。 <p>【副会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントを受けての修正は「事務局案のとおり」ということでよろしいでしょうか。以上をもちまして、司会にお返します。 <p>4 その他</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールの確認 <p>5 閉会</p>
会議資料	<p>資料① 各務原市こども計画（案）への意見と市の考え</p> <p>資料② 「各務原市こども計画」素案</p> <p>資料③ 「各務原市こども計画」概要版</p>
備考	